

分野(3)

ぜん息発症予防・健康回復のための知識の体系化に関する調査研究

研究課題名：吸入ステロイド薬服薬指導の実態と効果的な病薬連携、
指導プログラムによる長期管理改善に関する研究

調査研究代表者氏名：森 晶 夫

評価コメント

- ・薬剤師による吸入薬指導のプログラムの有効性が示された。
- ・吸入チェックシートの有用性を検証する必要があるのではないか。
- ・吸入ステロイド薬には種々のデバイスがあるので、混乱しないように指導を進めていくチェックリストは優れている。より効果的な方法として、実演による指導法を取り入れると良い。
- ・薬剤師の協力を得てステロイドの正しい吸入療法を患者に指導しようとする試みは現在の日本の医療制度の下では最も現実的な方法である。研究の進め方も合理的で正しいと思われる。このような試みは持続性のあるものでなければならない。そのためには薬剤師が何らかのメリットを共有する必要がある。そのためにはどうすればよいかを考える必要がある。
- ・パンフレット以外に、専門医による実地指導を加えることも考慮すべきではないか。
- ・ぜん息死の大きな部分を占める高齢者でも本研究における同様な指導で効果を発揮できるのか、また乳幼児ではどうか、という疑問が残る。また、その効果について、患者さんの指導前・後のQOLの変化等でとらえる必要があるのではないかと考えられる。
- ・今後も大林班などとの協調も視野に入れた推進を期待する。
- ・大林班との連携を取り、それぞれの長所短所を検討して協力することが望ましい。
- ・斬新性に乏しいと思う。